

委員会報告

総務経済委員会

陳情審査報告

◆陳情第1号

農協関係法制度の見直しに関する陳情

審査の結果採択すべきものとなりました。

◆陳情第2号

TPP交渉等国際貿易交渉に係る陳情

審査の結果採択すべきものとなりました。

総務経済委員会 所管事務調査報告

○調査日時

平成26年10月16日
平成27年2月12日

1. 調査事項

町の主な公共施設の現状と課題について

2. 調査の経過及び内容

町の主なる公共施設を視察し、担当課の職員から説

明を受け、質疑を行った。視察場所…育成牧場、虹別オートキャンプ場、虹別スノーシューション、食材供給施設、憩の家かや沼、標茶終末処理場

3. 委員会の所見

育成牧場では羊が飼育されているが、150頭くらいが目標から将来1、000頭くらいまでの飼育が可能か、又、標茶の気候に適しているかなどの質疑があった。

オートキャンプ場では施設利用のPRと料金のPRなどを広く行つてはこの意見が出された。

次に、食材供給施設では、平成9年に建設されて以来17年を経過している。外見も老朽化が進んでいる。2年間の休業がこれ以上長引くと、建物全体にも影響があるので早めの再稼働を望む。委員の中からは、民間に売却すべきとの意見がでた。

憩の家では、会議、宴会の部屋の照明を改善すべきなどの意見が出た。

調査した施設の中では、老朽化が進んでいるものもあるが、総合的に施設の管理運営は適正に行われているものと判断される

厚生文教委員会

審査報告

◆議案1号

標茶町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

◆議案2号

標茶町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

◆議案3号

標茶町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

審査の結果いずれも原案可決すべきものとなりました。

◆議案4号

標茶町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに標茶町指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

◆議案5号

標茶町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準等に関する条例の制定について

審査の結果いずれも原案可決すべきものとなりました。

厚生文教委員会 所管事務調査報告

○調査日時

平成27年2月9日

◆調査事項

「学校統合による児童、学校の実態と今後の見通しについて」

◆調査の経過及び内容

始めに説明員から資料についての説明が行われ、「総合計画に基づく統廃合」第4期計画の特徵的方針として、「学校の統廃合については、地域住民の十分な理解と協力のもとに進める。」とし、現状では、27年度の予定として、小学校7校、中学校5校となることが明らかにされた。

また、統廃合した場合①通学時間について一時間以内を基本とすること、②多

人数学級としての教育環境は上がるが、小規模校としての密度の濃い授業ができるというメリットもある。デメリットとしては、通学手段、区域外通学の問題、地域から学校がなくなるなどの問題点があげられた。

◆委員会の所見

以上の調査を行った結果、委員会としての所見は、次の通りである。

1、学校統廃合について、行政主導ではなく、保護者、地域、学校の実情、意見を尊重する方向性については評価できるし今後そのような慎重に取り組むことが必要である。

2、町内だけでなく、専門家の情報提供も含めた指導性もこの問題に関しては必要である。

3、学校を政策的に残すことと残すための施策も必要と考える。これは、学校統廃合の問題にとどまらず、保育所、病院、商店などの利便性と大きな係りがあり、人口の維持、思いきつた子育て支援など総合的に考えていく必要がある。

4、統廃合になっても、児童、生徒の精神的、肉体的負担、放課後活動などを考えれば、通学時間についての格別な配慮が必要である。